

腱鞘炎

腱鞘炎とは

手の腱鞘炎は、いろいろな場所でおこります。多くは手首周囲です。腱鞘炎は場所によって症状は様々です。

たとえば、使い過ぎなどで腱鞘が腫れて痛みが出たり、腱の滑走がしにくくなってばね指になったり、腱鞘が肥厚することで、腱が通るトンネルが狭くなり、神経を圧迫して、痺れが生じることもあります。

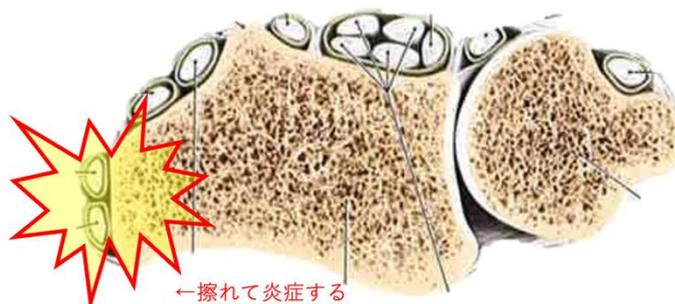


好発年齢は？

妊娠中・出産後・更年期の女性に多いと言われています

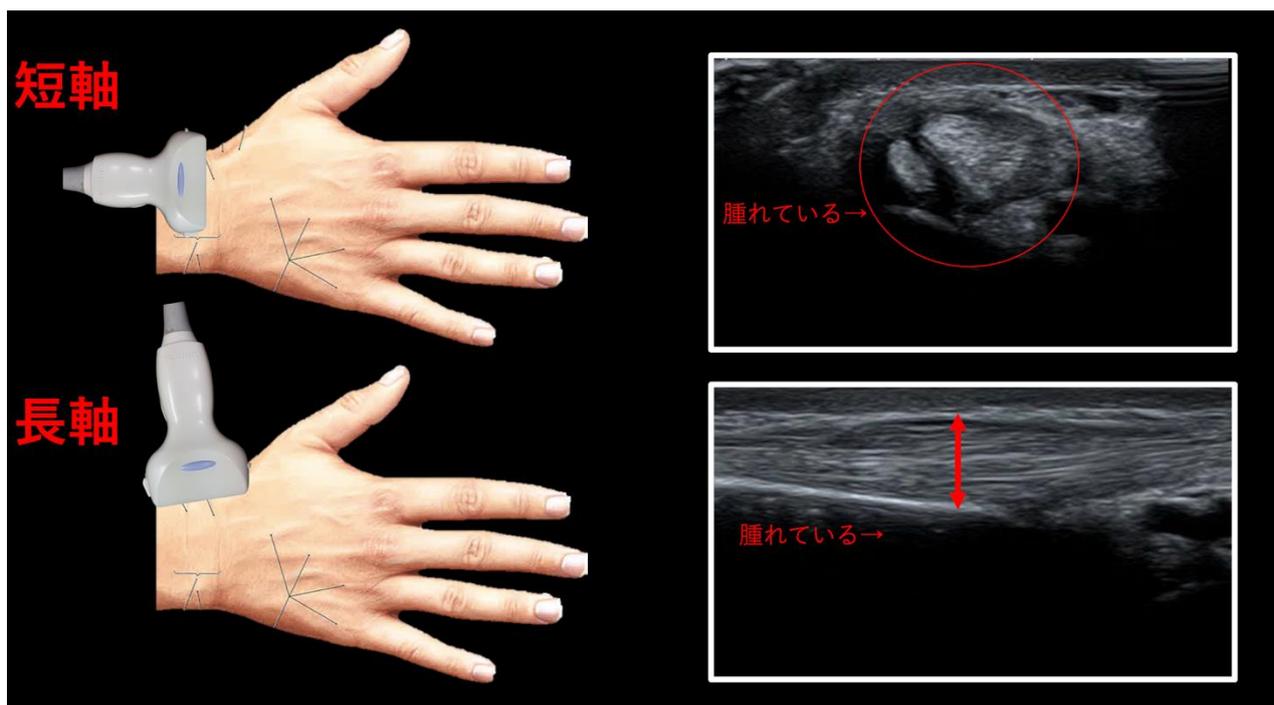
発生原因は？

使い過ぎによって腱鞘（腱が通るトンネル）が炎症し、肥厚すると、トンネルの空間が狭くなるので、腱の滑走が妨げられ、痛みを生じたり、滑走不全を起こしたりします。ばね指もその一つです。



どうやって評価するの？

若田接骨院では超音波観察装置で評価いたします。
患部の腫れ、腱の滑走性など多角的に評価いたします



治療はどうやってやるの？

最も大切なのは、安静です。安静位を保持するために取り外しのできる固定具を作成します。また患部には物理療法を行います。

もし固定具が仕事上難しければ、サポーターやテーピングを行い、なるべく患部に負担がかからないようにします。





腱鞘炎は、患部の安静が基本ですが、仕事などなかなか難しい環境にある方もいると思います。
そこで若田接骨院では特殊な治療機器を含め、
様々な固定具を準備していますのでご安心ください。